

福原 麻由
留学先: チェコ生命科学大学(CZU)
科目名: 情報学
2022年 12月10日

ロータリー月例報告書 Vol.15

12月に入りだんだんと寒くなってきました。現在申請中のビザが発給されないため、今回も観光ビザで渡航をすることになり、5ヶ月ぶりにプラハに帰ってきました。思っていたよりも寒く、北海道よりも体感温度が低く感じます。しかしながら、クリスマスシーズンに向けて街は賑わっておりこの時期ならではの暖かな雰囲気にも包まれているプラハもまた魅力的です。



写真: 大学のホール内に飾られたクリスマスツリー

プラハに到着して次の日からすぐに授業を受けました。もうすでに学期の終わりに差し掛かり来週からはテスト期間に入ります。ビザの状況について前もって教授やコーディネータに事情を説明していましたが、提出物やテストについてなどの最終確認をするなど慌ただしい日々を過ごしていました。今年の4月からは、全てのクラスがオフラインになり対面で授業を受けることが必須となったため、実際にプラハに到着してからやらなければいけないことも多いですが、テスト勉強の時間を確保するためにもできることをこなしていきます。生活面では、2月まで住むところが確保されていますが、以降はこれから見つける予定です。実際に大学にいと、友達が寮の情報を教えてくれたり、実際に見学をさせてくれたりと多くの人に助けをもらい大変ありがたいです。一人では解決が難しい問題も、周りの人に聞いたり助けを求めることで良い方向に向かっていきます。周囲の人の存在に改めて感謝を感じる日々を過ごしています。また、初めて授業を受けたので今まで会ったことのないクラスメイトにも会うことができました。一緒に勉強をしたり、お互いのインターンシップや仕事についての話ができる仲間がいるのは大変刺激的でした。今はテスト勉強に集中していますが、学期が終わり新学期に入るまで少し休みがあるので、大学以外にも自分の興味のある分野の知識を深めていきたいです。



写真左:講義室、写真右:朝のキャンパス前

今後の予定としては、新たにビザを申請予定です。現在のビザは申請してから既に1年4ヶ月が経過しているため、来週に隣接国であるスロバキアにてビザ申請をします。初めて行く国なので不安もありますが、無事に申請を終わらせてきます。テストに加えて重要な事がこれから続くので、くれぐれも無理をせず体調管理をしてこれからの備えます。

気がつけば、今回のレポートが今年最後になります。振り返ると、人生で一番濃厚で実のある一年だったように思います。毎日忙しく過ごしてしまっていると、今置かれている環境のありがたさに気がつかずに目の前のことでいっぱいになってしまうことがあります。今このように立ち止まって物事を考えると、2年前に掲げた目標を皆さまの応援があり去年果たすことができました。今ではロータリー財団の奨学生として学士留学をしています。困難なことがあっても皆さまのご支援ご声援が励みとなり、乗り越えられています。改めて感謝を申し上げますと同時に、これからも充実した留学生活を送れるよう邁進してまいります。来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



写真:プラハ6区を中心街に飾られたクリスマスツリー